



亀田西中学校区冬期ボランティア活動

～五味(支・愛・繋・合・協)出しボランティア～



亀田西中学生の冬期ゴミ出しボランティア活動は今年13年目を迎えました。

今年は亀田西コミ協清野会長はじめ福祉授業でお世話になっているかめだ圏域支え合いしくみづくり推進員の神田様より学年別に呼び掛けて頂きました。

コロナ禍の中ですが、感染対策に留意し20名の生徒が活動に参加しています。

下記の写真を撮影した1月中旬は雪がありませんでしたが、今年は雪も多く生徒たちは活動しにくい面もあったと思います。

活動2年目の2年生の生徒に感想を書いてもらいました。

亀田西中学校 2年1組 斉藤 侑李

五味出しボランティアをやる上で一番大切な気持ちは、ゴミ出しをやる家の役に立とうという気持ちだと思います。ゴミ出しをお願いしている方々は、僕たち中学生のことを信用して依頼しているので、僕たちはそれに答えなければいけません。なので毎日忘れずにやり、依頼する人の役に立つ事が大切だと思います。またゴミ出しをやることで、依頼している方が喜んでいいると考え、自分も嬉しくなり、この活動をもっと続けたいと思えます。僕はこの活動は、する側もされる側も喜ぶるとてもすばらしい活動だと思うので、来年もやりたいと思うし、そのずっと先までこの活動を受け継いでほしいと思います。



令和4年度亀西コミ協研修会

令和4年11月16日に3年ぶりの研修会を柏崎市役所等で実施しました。亀西コミ協の理事、自治会長を含め19名の参加で「自主防災組織」の立ち上げについて話を聞きました。

亀西コミ協の中でも積極的に活動されている五月町自治会長の麩澤様より感想を頂きました。

亀田西小学校区コミュニティ協議会研修会に参加して

五月町自治会長 麩澤 富雄

この度、11月16日に実施された亀田西小学校区コミュニティ協議会の研修に参加させて頂きました。この研修会は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い2年間中止されていたもので、3年ぶりの開催案内が届き、研修先が「自主防災組織」の先進的取り組みをされている柏崎市比角地区の比角コミュニティ運営協議会とのことで、参加をお願いしました。参加者は亀田西小学校区コミュニティ協議会(以下西コミ協と称す)の幹事を中心に19名の参加でした。我が町内会からも、防犯防火部の副部長2名が参加させて頂きました。

新装なった柏崎市役所の1階多目的室において、柏崎市防災・原子力課の担当者の進行で研修会が始まりました。冒頭の防災・原子力課課長の説明の中で、同市は、2004年の中越地震、2007年の柏崎市を中心に甚大な被害が発生した中越沖地震、更には2011年の東日本大震災と10年以内の間に3度も大きな地震を体験されており、非常に防災に関心が高い地域であることです。加えて、東日本大震災の津波により発生した福島第一発電所の原発事故の恐怖が、現在は点検整備のため運転中止している東京電力柏崎刈羽原子力発電所を立地している地域であることです。

今回「自主防災組織」の活動について説明のあった比角コミュニティ運営協議会は、比角小学校区の人口9,787人、世帯数4,029の26町内で構成されており、我が西コミ協より、若干小さいがほぼ同規模の協議会ではないかと思えます。

活動状況を説明された運営協議会長は、34年間もの長きにわたり自主防災組織の立ち上げから活動まで、関与されてきたエキスパートの方でありました。驚いたのは、「安全・安心の町比角」に向けのキャッチフレーズで基本計画、安全会議設置規則、防災計画、地区安全会議組織図等規定やマニュアル面が完璧に作成されておりました。これは中々大変な作業だなあと思いましたが、比角コミの会長さんは、ネットから他市の避難所運営マニュアルを探して参考にすれば良いとの説明で少し安心した気持ちになりました。それから参考になったことは、防災訓練を通して課題の掘り起こしをしていくことの事例の中で無線機を使った訓練をしたが、雑音で無線機がよく聞こえなかったとの反省から、最近では、スマホのLINEを使って連絡網の構築を図っており、現在は200人規模



の加入があるが、更にその輪を広げていきたいとの話があった。友達の輪を広げることは、正にコミュニティ協議会の目的そのものと感じました。

今回の研修会に参加して、大災害はいつどんな形で発生するか予測がつきませんが、大切なことは、まずは身の安全を確保し、町内の高齢者や避難行動要支援者の避難誘導を行い、町内更には西コミ協地域から犠牲者を1人も出さない事が一番であると感じました。そのためにこれからも町内みんなで見守り・支え合う気持ちを大切にしてその輪を広げていきたいと思いました。

結びにコロナ禍の中にあって3年振りに研修会を企画された西コミ協の事務局の英断と快く研修に応じて頂いた柏崎市役所と比角コミュニティ運営協議会の皆様に感謝して、研修報告とさせていただきます。



柏崎市役所前



研修風景



意見交換会開催



令和5年2月10日亀田市民会館において2年ぶり(令和3年度は書面開催)に意見交換会を開催しました。江南区役所と亀田西小学校区内の自治・町内会長、コミ協理事29名の参加でした。

前半の自治会長とコミ協理事との意見交換では各町内会における私道の除雪のやり方についてなどの話がありました。またふれあい運動会をぜひやってほしいとの要望がありました。

後半区役所との意見交換では5名の自治会長の方から道路の補修工事の進捗状況、小学生の通学路の安全確保、防災避難所について等多方面からの質問がありました。各担当部署の課長より説明があり、活発な意見交換の場になりました。




令和5年度 亀田西小学校区コミュニティ協議会 事業計画(案)

日程が確定している事業については、()内に記載しています。

月	事務局	安心・安全部会	レク部会	環境福祉部会	広報部会
4		西小下校パトロール協力			
5	亀田西小学校区 コミュニティ協議会 幹事会				
6		西中 防災教室協力		声かけ見守り訓練	
7					
8		防犯情報交換会		西中校地整備参加協力	
9		防災研修			亀西コミ協たより
10	研修会		第13回 ふれ愛運動会 (8日)	江南区ふれあい・ ささえあい交流事業 西小PTA 半日奉仕作業 協力 赤い羽根共同街頭募金 活動協力	
11	五味出しボランティア 生徒募集の会				
12					
1			第10回 ふれ愛もちつき大会 (予定)		
2	意見交換会				
3	きらとぴあ周年祭				亀西コミ協たより

※太字は、全地域住民を参加対象とした事業です。
※コロナの感染状況等により予定が変更になる場合があります。



きらとぴあ8周年祭

3月25日(土) 江南区福祉センター(きらとぴあ) 11時～15時迄

昨年亀西コミ協と亀田西中学校の生徒が協力して参加したきらとぴあ周年祭に今年も参加することになりました。西中生徒はワークショップをやり着々と準備を進めています。イベントブースで縁日を予定していますのでぜひお立ち寄り下さい。

編集後記

コロナ終息にはまだ先が見えない昨今ですが、マスク自由化ということで来年度の行事が全て実施できればと思っております。

広報部

コミュニティ協議会の運営・活動は新潟市の補助金を受けて実施しています。

～スローガン～ カメダ西 大きな輪になれ 笑顔と行動

